

シード設定基準

鹿児島県バドミントン協会小学校部会

- 1 過去1年間の県協会主催大会（シングルスの場合はシングルス大会、小学生大会、春季選手権の3大会、ダブルスの場合は小学生大会、春季選手権の2大会）の結果から、直近の大会結果を優先して、下記例の順番でシードを設定する。

（例1）シングルス大会の場合

① 前年度春季選手権	1位～2位	② 前年度小学生大会	1位～2位
③ 前年度シングルス大会	1位～2位	④ 前年度春季選手権	3位～4位
⑤ 前年度小学生大会	3位～4位	⑥ 前年度シングルス大会	3位～4位

以下同様に5位～6位、7位～8位の順で設定する。

（例2）小学生大会シングルスの場合（ダブルスは①、④を除外）

① 当年度シングルス大会	1位～2位	② 前年度春季選手権	1位～2位
③ 前年度小学生大会	1位～2位	④ 当年度シングルス大会	3位～4位
⑤ 前年度春季選手権	3位～4位	⑥ 前年度小学生大会	3位～4位

以下同様に5位～6位、7位～8位の順で設定する。

（例3）春季選手権大会シングルスの場合（ダブルスは②、⑤を除外）

① 当年度小学生大会	1位～2位	② 当年度シングルス大会	1位～2位
③ 前年度春季選手権	1位～2位	④ 当年度小学生大会	3位～4位
⑤ 当年度シングルス大会	3位～4位	⑥ 前年度春季選手権	3位～4位

以下同様に5位～6位、7位～8位の順で設定する。

- 2 全国大会推薦選手のために試合に参加しなかった場合には、その者は当該試合で1位であったものとみなし、当該試合の入賞者の順位をそれぞれ1ランクずつ繰り下げるものとする。
- 3 参加者数が少ない場合は、第1～4シードまでを選出する場合もある。
- 4 ダブルスで、ペアの変更があった場合には、シードを繰り下げるものとするが、
- (1) 1位から4位に入った者同士が組んだ場合、又は5位から8位に入った者同士が組んだ場合には、ペアの変更はなかったものとみなす。
 - (2) 1位から4位に入った者と、5位から8位に入った者又は上学年の1位から8位に入った者とが組んだ場合には、シード権の順位を1ランク下げる（第1シード→第2シード）。
 - (3) 1位から4位に入った者が同大会シングルスの1位から8位に入った者と組んだ場合には、シード権の順位を1ランク下げる（第1シード→第2シード）。
 - (4) 1位から8位までに入った者が9位以下の者と組んだ場合にはシード権を与えない。
- 5 シングルスで、下学年の種目の1位又は2位に入った者が一つ上の学年の種目に参加した場合（例えば、シングルス大会3年の部で優勝した者が小学生大会4年の部に参加するような場合）には、当該1位の者を第11シードの位置に、2位の者を第12シードの位置に入れるものとする。
- 6 各チームの選手は、エントリー数に応じて各ブロックに均等に分けるものとするが、第1～4シードについては、シード設定基準のとおり配置する（例えば、第2シードと第3シードが同チームの者であった場合、第3シードと第4シードの位置を変えることをしない）。
- 7 チームのランク下位の者がシード権を得ている場合には、その者のチームのランクは1位であるものとみなす。（チームのランク2位の者がシード権を得ている場合、その者に替えてチームランク1位の者にシード権を与えることはしない）。

【令和4年4月】